



2歳男児。突

然けいれんを起  
こしました。



高熱がある場

合は、熱性けい

れんです。乳幼児の約

20人に1人が経験する

比較的多い状態です。

通常は、熱が急に平熱

から39〜40度に上昇す

るときに起こります。

全身がかたくなり、首

が後ろに倒れ、白目が

出て、やがて手足が震

えます。通常は5分以

内に収まります。

熱の原因は風邪のこ

とがほとんどです。け

いれんしたときは、あ

わてずに、体ま

たは顔を横に向

けてください。

これは、吐いた

物が気管に入っ

て窒息するのを

防ぐためです。

舌をかむことは

ありませんから、口の中

に指などを入れてはいけ

ません。もし、5分以上続

く、繰り返しけいれんが

## 突然のけいれん・・・高熱時なら熱性けいれん

起こる、熱がないなど  
のときは、急いで病院  
へ。一度熱性けいれん  
を起こすと、3人に1  
人の割合で再び起こる  
可能性があるので注意  
が必要です。

発熱したら、すぐに  
熱さましとけいれん予  
防の座薬を使用するこ  
とがあります。ただし  
これには厳密な条件が  
あります。まず、けいれ  
んが15分以上続いた場  
合。次に、手足の一部の  
みのけいれん、神経的  
な異常や発達の遅れ、  
家族の誰かに熱性けい  
れんまたはてんかんが

ある、年齢が1  
歳以下、熱が38  
度以下でのけい  
れんなどが2度  
以上あった場合  
です。平熱時に  
繰り返し直す場合に  
はてんかんのこ

ともあります。精密検査  
が必要です。(水戸市中丸  
町の平野こどもクリニッ  
ク院長・平野岳毅)

